

1. 科目名 (単位数)	社会教育演習 (1 単位)		3. 科目番号	SSMP3409						
2. 法定科目名	社会教育演習									
4. 授業担当教員	手打明敏									
5. 授業形態	社会教育・生涯学習に関する基本論文を講読し、グループ討議を通じて受講者自身の課題を明確にする。		6. 開講学期	秋期						
7. 履修条件・他科目との関係	本科目は、文部科学省令で定められた社会教育主事養成科目の選択必修科目であり、4年次に実施される社会教育実習の前段階に位置付けられる。本科目受講前に、生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育経営論を受講しておくこと。									
8. 講義概要	<p>生涯学習概論、生涯学習支援論、社会教育経営論の授業をふまえ、社会教育の現代的課題に関わるテーマについてテキストを講読し、社会教育・生涯学習の理解を深め、「社会教育実習」に参加する問題意識を深める。</p> <p>テキストとしては、日本社会教育学会年報や日本公民館学会年報等の専門学会誌掲載論文を予定している。受講者が学会誌掲載の論文から受講者が選択し発表し、教員の指導のもと質疑応答をおこない、文献理解を深め、社会教育・生涯学習にどのような課題があるかを把握する。</p> <p>本授業では、文献講読とともに、地域社会教育、生涯学習施設（公民館、図書館、博物館、生涯学習センター、放課後児童クラブ等の巡見をおこない、施設職員、スタッフ等へのヒアリングをおこない、社会教育、生涯学習の課題を体験的に理解する。</p> <p>受講学生は、理論的、体験的な学習を通じて得た知見をレポートとしてまとめ、4年次夏休み以降に予定されている社会教育実習に参加する問題意識を明確にすることをめざす。</p>									
9. 学習目標	<p>本授業では、受講者が4年次夏休み以降に予定されている社会教育実習に参加することを前提として、実習において学ぶべき課題、テーマを明確にすることをめざす。そのため、第1に、受講者は社会教育、生涯学習の専門学会誌の講読とディスカッションを通して問題意識を明確にすることをめざす。第2に社会教育、生涯学習施設の巡見を通じて、社会教育、生涯学習施設利用者の特性や学習活動を体験的に理解することをめざす。第3に、社会教育、生涯学習に関わる職員、スタッフに対するヒアリングを通して、職員、スタッフの職務内容を体験的に理解することをめざす。第4に、受講学生が各人の課題テーマを調査するためのノウハウを身に付けることをめざす。具体的には、地域の公立図書館、資料館、博物館の他、県立（都立）図書館、博物館など広域的な社会教育、生涯学習施設の活用ができる力をつけることをめざす。</p>									
10. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>以下の事項について調べて授業に臨んでください。</p> <p>①社会教育・生涯学習施設を少なくとも5つは説明できる。</p> <p>②社会教育専門職員の種類と役割について説明できること。</p> <p>学期末にレポートを作成していただく。課題については授業内で指示する。</p>									
11. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 授業時に関連する資料を配布する。</p> <p>【参考書】 生涯学習・社会教育行政研究会編『生涯学習・社会教育行政必携』第一法規、社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』エイデル研究所 他</p>									
12. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 学習目標の達成度において評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <table border="1"> <tr> <td>①授業内での発表内容</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>②授業内の討論への貢献度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>③期末レポート課題</td> <td>50%</td> </tr> </table>				①授業内での発表内容	30%	②授業内の討論への貢献度	20%	③期末レポート課題	50%
①授業内での発表内容	30%									
②授業内の討論への貢献度	20%									
③期末レポート課題	50%									
13. 受講生へのメッセージ	演習では、受講者の発表、討論中心に進められるので、原則として授業に出席すること。対面授業が可能となり、施設・機関が受け入れを承諾していただける場合には、社会教育、生涯学習関係施設の巡見を行うことを予定している。巡見が実施できない場合には、関連文献や資料を活用して演習をおこなう。受講者の積極的な授業参加を期待しています。									
14. オフィスアワー	初回授業時に連絡する。									
15. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション	事前学習	これまで学んできたことを思い出ししておく。							
		事後学習	疑問点・関心をもった事項を整理する。							
第2回	受講者の問題意識の発表とディスカッション	事前学習	自身の問題意識を整理する。							
		事後学習	自身の問題に関わる論文を探索する。							
第3回	講読文献の選択	事前学習	引き続き、関係論文を探索する。							
		事後学習	講読する論文を確定する。							
第4回	講義1：社会教育、生涯学習政策の動向について	事前学習	今回の授業に関連する資料を読み込む。							
		事後学習	本日の内容を整理する。							
第5回	講義2：社会教育、生涯学習事業にみられる特徴	事前学習	今回の授業に関連する資料を読み込む。							
		事後学習	本日の内容を整理する。							
第6回	講義3：社会教育・生涯学習専門職員の役割	事前学習	今回の授業に関連する資料を読み込む。							
		事後学習	本日の内容を整理する。							

第7回	巡見1：受講者が関心をもった社会教育、生涯学習関係施設を調べる。(巡見が実施できない場合には公民館(生涯学習センター)について講義とディスカッションをおこなう。)	事前学習	巡見予定の施設の資料を読み込む。(今回の授業に関連する資料を読み込む。)
		事後学習	本日の内容を整理する。
第8回	巡見2：受講者が関心をもった社会教育、生涯学習関係施設を訪問し、学んだことを発表する(1)。(巡見が実施できない場合には図書館について講義とディスカッションをおこなう。)	事前学習	巡見予定の施設の資料を読み込む。(今回の授業に関連する資料を読み込む。)
		事後学習	本日の内容を整理する。
第9回	巡見3：受講者が関心をもった社会教育、生涯学習関係施設を訪問し、学んだことを発表する(2)。(巡見が実施できない場合には図書館について講義とディスカッションをおこなう。)	事前学習	巡見予定の施設の資料を読み込む。(今回の授業に関連する資料を読み込む。)
		事後学習	本日の内容を整理する。
第10回	受講者の演習課題テーマ案の発表1	事前学習	テーマ案を整理し、発表準備をする。
		事後学習	本日の内容を整理する。
第11回	受講者の演習課題テーマ案の発表2	事前学習	テーマ案を整理し、発表準備をする。
		事後学習	本日の内容を整理する。
第12回	課題テーマの発表とディスカッション(1)	事前学習	課題テーマの発表について準備する。
		事後学習	本日の内容を整理し、関連文献を読み込む。
第13回	課題テーマの発表とディスカッション(2)	事前学習	課題テーマの発表について準備する。
		事後学習	本日の内容を整理し、関連文献を読み込む。
第14回	課題テーマの発表とディスカッション(3)	事前学習	課題テーマの発表について準備する。
		事後学習	本日の内容を整理し、関連文献を読み込む。
第15回	課題テーマの発表とディスカッション(4)	事前学習	課題テーマの発表について準備する。
		事後学習	本日の内容を整理し、関連文献を読み込む。